

## のたろんフェア 2018 報告

2018.2.22

- 目 的
- ・市民公益活動団体に、活動紹介と活動資金作りの場を提供する。
  - ・より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
  - ・市民活動サポートセンター利用団体をはじめとする参加団体がより活発に交流できる場とする。
  - ・社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業の協働のきっかけ作りの場を提供する。

日 程 2018年2月10日(土)、11日(日) 10:00~15:00

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター及びその周辺

主 催 のたろんフェア 2018 実行委員会・横須賀市

- 参加者
- 1) 全体の参加団体数 90 団体
  - 2) 2日間の来場者数 5,428 人 (前年 6,755 人)
  - 3) 実行委員 11 人、運営ボランティア 57 人

内容・成果・課題

- 1) パネル展示 (通常展示 34 団体 体験展示 10 団体 ミニ展示 19 団体)  
団体の活動を紹介するパネル展示を行った。受付前交流サロン側に配置をし、パネル展示をまとめて見られるようにレイアウトした。  
「体験展示ブース」を設営し、体験をしながらの活動紹介ができるようにした。この方法はおおむね好評であったので、来年度以降も踏襲したい。  
備品の机が例年より長いサイズだったため出入りが困難だったとの意見が多数あった。
- 2) フリーマーケット (館内 23 団体 館外 11 団体)  
活動資金集めを目的とした販売や飲食などの模擬店を行った。パネル展示と完全に分けたレイアウトにしたため、スッキリしたという意見が寄せられた。  
売上総額 1,109,322 円 (最高 118,800 円 最低 4,450 円 1 団体平均約 29,981 円)  
純益総額 495,129 円
- 3) 募金 (8 団体)  
いくつかのルールを定め、募金活動を行った。
- 4) 署名活動 (3 団体)  
いくつかのルールを定め、署名活動を行った。

- 5) スタンプラリー (参加者 486 人)  
来場者に各ブースを回ってもらうための企画。ブースを回ってシールを集め、6 枚集まったら景品交換所にて景品と交換してもらう。ブースに足を向けてもらうきっかけとなった。会場全体を回らないと貰えない仕組みにし、参加団体からは概ね好評であった。
- 6) のたろんステージ (7 団体)  
ショッピングプラザ横須賀 2 F のセンターステージで開催。おおむね好評であった。また、
- 7) 市民活動ミニ体験・映像紹介 (19 団体)  
参加者が気軽に市民活動を体験できるコーナーを設置した。映像や活動紹介なども行ったが、たくさんの方が関心を持って参加されていた。実行委員会で組織した「のたろん復興応援団」主催による復興講演会は、多くの方が関心を持って聞いてくれた。初めて開催した「横須賀ウルトラ〇×クイズ」も概ね好評であり次年度以降も実施を検討したい。
- 8) 会場装飾  
恒例の塗り絵の募集を、「みんなの書く、のたろん」としたところ、学童保育の児童・津久井小学校を中心に、バラエティーに富んだ作品が集まった。  
創意工夫を凝らしたものが多く、会場に彩りを添えた。また塗り絵をしてくれたお子さんも来場してくれた。
- 9) 市民活動支援のための不用品募集 (希望団体 12 団体)  
サポートセンターでの受付分を希望団体に分配した。(分配は 11 団体)
- 10) 市民活動団体交流会  
約 60 名が参加予定
- 11) 写真コンクール (応募作品数 18 団体、投票数 199 票※内 9 票無効)  
団体 PR のため団体の活動写真を公募し、フェア当日来館する方々に投票してもらった。事前 PR 展示にも応募作品を掲示し一般の方々へ参加団体の活動を PR した  
応募作品展示  
・1 月 27 日 (土) ~ 2 月 2 日 (金) ショッピングプラザ横須賀 2F PR 展示にて表彰式  
・2 月 23 日 (金) 18:30~19:30 のたろんフェア 2018 参加団体報告会内にて
- 12) クリーン大作戦 (参加団体 12 団体、クリーン清掃応援隊 33 人 参加者合計 77 人)  
「よこすか何でもやんべえ〜会」協力による炊き出しが行われ、こちらも大変好評だった。資源循環推進課の協力により「クリーン清掃応援隊」が多数参加してくれた。
- 13) 企業の社会貢献活動の紹介 (2 企業)  
活動内容を広く周知することができた

#### 14) のたろん復興応援団

東日本大震災、熊本震災を受け、実行委員会として復興支援の取り組みを行った。

①市内避難世帯招待：被災地から市内に避難してきている家族へ、のたろんフェアのご案内と招待状を発送した。(約 54 世帯)

また、招待状を持って来館した方に喫茶の無料券、記念撮影、館内で使えるクーポン券を進呈した。

(3 世帯 6 名来場、クーポン券 3,000 円利用)

②復興応援団販売ブース運営：南三陸支援チーム「ありがとう」の協力により南三陸の物品販売を行った。 売上げ：67,780 円

熊本地震復興支援として熊本市内地域作業所製品の販売を行った。 売上げ：42,600 円

③講演会：ミニ体験コーナーにて、南三陸支援チーム「ありがとう」協力により「被災地の子育て・現状と今後」をテーマに講演を行った。

#### 16) 来場者動員企画

積極的に動員企画を立ててもらおうと、各団体に呼び掛け、企画提案をしていただくようお願いをした。企画を提案してくれた団体は 1 団体。

横須賀歩け歩け協会 (団体の行事と連動する提案)

ヨコスカウオーキング協会 (団体の行事と連動する提案)

#### 17) ミニミニ展示

昨年実施し好評であった、フェアに参加しない団体にも情報発信をしてもらおうという企画。A5 サイズのポスターを会場内に掲示した。25 団体のポスターを掲示した。

### 広 報

#### 1) プレイベント

1 月 27 日 (土) 10:00~15:00

場所 ショッピングプラザ横須賀 2F センターステージ 参加団体 7 団体

#### 2) PR 展示

1 月 26 日 (金) ~2 月 8 日 (木)

場所 横須賀市立市民活動サポートセンター活動紹介コーナー

2 月 5 日 (月) ~2 月 9 日 (金) 場所 横須賀市役所

1 月 27 日 (土) ~2 月 2 日 (金) 場所 ショッピングプラザ横須賀 2F

#### 3) ポスター・チラシ配布 市内各公共施設・学校・銀行・店舗 その他

#### 4) 広報記事掲載・放送 広報よこすか・情報誌のたろん・のたろん通信・神奈川新聞・タウンニュース・はまかぜ新聞・まなびかんニュース・FM ブルー湘南他

#### 5) PR 番組放送 FMブルー湘南 1 月 24 日 (水)、1 月 31 日 (水) 15:00~15:30 (収録参加団体 8 団体)

#### 6) Facebook PR 動画 収録参加団体 9 団体

## 参加団体報告書及び実行委員、運営ボランティア、スタッフ アンケートより抜粋

**感想・意見** ○良かったところ △改善すべきところ ◆提案

- ◆ミニ展示物が少し上の方で読みにくいものもあり低く展示していただくとよかった
- 終了時間を繰り上げたのはセッティング・片付けのボランティアの負担（各人の）が減ることにつながれば良いと思う
- 場所代が不要で提供品をいただけて、とても助かりました
- ◆他団体の方たちと連携してスタンプラリーの工夫をしたい
- 来場者に我々の活動をPRし、仲間を増やせるいい機会になります
- ◆パネルの位置によって人が立ち止まるところと素通りしてしまう所があるため、一回展示した場所にはならないように工夫してもらいたい
- 毎年の2日間にわたるイベントが今年も無事に終わり、実行委員、サポートセンターの職員のみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです
- 2日間ともお天気に恵まれよかったです。寒くもなくちょうどよい2日間でした
- ◆スタンプラリーのゾーン分け（黄赤緑）が分かりづらく、お客さまから「みどりのシールはどこでもらえる？」と聞かれることが多かったです。団体名表記の用紙の下にカラー用紙をつける、色分けした会場案内図を設置する、天井からつりさげるなど、なにかわかりやすいといいかなと思いました
- △ミニ体験コーナーが各ブースから見えづらく、もったいないな、と思いました
- 「参加団体スタンプラリー」があったので他の団体との交流がやりやすくて良かった
- 各団体の活動発表や、わらいき山下さんのブース紹介などもあって横のつながりを感じました
- △参加者は年配の方が目立ち、若い世代や、子どもたちが少なかった気がする
- △いろいろな団体の活動が分かってよかったが、一般市民の参加が少ない気がした
- △市の広報では宣伝していたが参加団体も自分たちでもっと呼びかけるべきだった（反省もこめて）
- 初めて参加させていただきましたが市内のいろいろな団体と交流する事ができました
- テントの設置、撤収がチームワーク良くスムーズに行えた
- △休憩コーナーのゴミ箱が小さく感じた
- ◆集合写真の際に撮影者間でトラブルがあった様で、誰が記録担当なのかなどわかるようにしてほしい
- 「のたろん」「のれん」が可愛かった
- △館外ブースで販売に夢中になり一般通行者のジャマになっていた（購入者の誘導が必要）
- ◆会場内入口周辺にプログラムが置きっぱなしになっていたのも、案内・説明係をつけた方がよい
- △ボランティア控室・休憩所内に参加団体の方が多く利用していた
- 会場準備・撤去等の際の指示が的確であると同時にボランティアの方々の動きが機敏であった
- 15:00 終了はとても良いです。14:00 過ぎると人がまばらになりなす
- ◆責任者（スタッフ、実行委員）には、ビズス着用してもらえると、わかりやすく探しやすいです
- 館外のテント設営時にバミリに加えテントの色もテープで貼ってくれていたのも、スムーズでした
- ◆ミニ体験コーナー案内、タイムスケジュール表を、見やすい所に張付けてほしかった
- △クリーン大作戦の際、炊き出しのみそ汁を提供するテントに「クリーン大作戦 参加者」など看板が必要。一般の方が無料配布と思い数名声をかけてきた
- 各団体たくさん的人员が朝早くから集まり協力して準備ができた。年々「みんなでつくる」が定着してきて自分のブースだけという人が減ってきた

- △実行委員の方の役割がわからなかった。説明会配布資料の実行委員名簿に役割を記載するなど必要
- △せっかく市長が来場したのだからクイズの出題だけではなく、ゆっくり話が聞きたかった
- △館内フリマでブースからはみ出して販売している団体が多数あった
- 前日備品搬入、会場準備の際に多くの参加団体の方々が協力してくれた
- △イベント、初日にショッパーズプラザでステージイベントがあったが、MCの方以外「のたろんフェア」に開催触れることがなく残念に感じた。パフォーマンス発表だけでなく参加団体の方も「のたろんフェア」に参加している意識を高めてほしい
- △ショッパーズプラザより控室として借用した会議室内がイベント終了後、机やイスが散乱していた。ショッパーズプラザからは嚴重に注意を受けた。使用した各団体は原状復帰の徹底を！
- △ステージ発表前、他テナント前に出演前団体が大人数で入口を塞いだり、パフォーマンス練習をしていた様で、ショッパーズプラザより嚴重注意を受けた  
(複数テナントより苦情がありテナント責任者より注意を受けた)
- △館外ブースの販売表示がわかりにくいと一般の方より苦情があった
- △館外ブース、館内フリマは販売のみに集中して団体の広報(チラシ配布など)をしていない所が多く見受けられた。せめて購入者にチラシを配布するなどの工夫を
- 館外休憩コーナーを2カ所設置したのでゆとりがあり座って飲食をとれた

#### ひやっとしたこと、ハッとしたこと

- ・背後のパネルに衣料をハンガーでかけていて注意を受けヒヤッとしました。申し訳ありません
- ・机のサイズ、レイアウト上しょうがないのかと思いますが机と机の間が狭く出入りが大変な方がいたようでした
- ・スタンプラリーのシールをもらいに外に出ていく子どもが前も見ず突進するのがハラハラでした  
また小さな子供だけで外にでていくのを見てヒヤッとしました
- ・1日目の午後に急な突風が吹きゴミが車道に飛んでしまった
- ・備品の机がちょっとぼろくて脚がロックされていなかった、ささくれているものがあった  
(机の上に置いた物が落下、机転倒、机の角でトゲがささり怪我などにつながる)
- ・館外で歩道が人でいっぱいになった時、車道にでている人が多く、ぶつかりそうで怖かった